

訃報

中川成之輔 先生

(五十七歳)

かねてより病氣療養中のところ、六月二十九日逝去されました。

先生には、当医会のために理事として多大のご尽力をいただきました。

謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。

あとがき

本年度1冊目のVol.10 No.1(21号)をお届けします。

●当医会の事業である災害時救急透析医療システムに登録されている膨大な資料の統計学的解析により、透析アミロイドーシスの発症因子、血液透析患者の生命予後決定因子に新たな視点が加えられました。

●理事、中川成之輔先生が逝去されました。「本日、中川が亡くなりました。生前より昵懇をいただいていたのでお知らせ致します。」と、奥様より電話をいただいた時は呆然としてしまい、気が付くとお通夜と告別式の日程を唯々くり返しお尋ねしていました。数年来メニンヂオーマを患われており、最近仕事ははかどらないという趣旨のお便りで心配していましたが、全く別の疾患で亡くなったことを後日知りました。

私が、透析治療に従事したのは昭和45年からで、当時はまだ纏ったこの方面の日本語の参考書がほとんど無く、越川昭三先生との共著「人工腎臓」は文字通り私にとってガイドブックでした。その後も折につけ、ご指導やご叱正をいただき今日に至りました。私事でくよくよ悩んでいる時、「人生、一度っきりだあ」と怒鳴るように言われ、何故か急に気分が楽になったことを昨日のこのように思い出します。

先生は斯界のリーダーのお一人でもあり、多大の功績を残されたことはご承知の通りです。温容にして豪放磊落、猛烈に研鑽を積み重ねながらも、後輩の育成についてはわが事以上に心配され、温情をもって当たられました。

先生、安らかにお眠りください。

(広報委員長：奥田健二)